

2023年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ

1 事業の成果

<全体>

手がける事業数の多さとスタッフの入れ替わりにより、組織基盤の脆弱さと事業の集中と選択について見直すきっかけとなった。しかし、年度後半は特に、「仕事と暮らしの両立フェスタ」やジェンダー視点のある地方創生をおこなう「YUIみらいプロジェクト」など、理事も大きく参画することで新しい視点や方法などを取り入れ、組織として次のステージに向かっている。新オフィスは学生が気軽に立ち寄れる場所になりつつあり、対面活動の良さを改めて感じながら、次世代育成が仕事として成り立つような仕組みを模索中である。

<各事業について>

①はたらく環境を、より良く変えていくワークライフバランス事業

・松山市中小企業振興円卓会議事業（シン・まつやまワークワク部）やまつやま人口減少対策推進会議活動（ライフデザイン）は、補助金事業としては最終年度となり、行政への提言をおこなった。また、ワークワク部は自主活動として継続する。

・自主事業では、企業や他団体との協働でおこなうものの比率が増え、やらなくていけないことに追われたことが課題として残るが、10年以上前から団体として取り組んできたことに、ようやく行政の予算がついてきて社会が少しずつ変化してきていると感じる。

②人を育て、マチを育てる次世代育成事業

・まちのがっこうをプラットフォームとした、愛媛県と松山市からの補助事業「休日子どもカレッジ」では学生ボランティアとして卒業生が関わってくれることが増え、中・高・大・社会人・シニアと多様な環境が整ってきた。関わる人の多さが意識のズレにもつながりがちなため、どのような居場所を作っていくのか、という軸の確認と共有方法の見直しを検討中である。

・小学生の探究学習スペース「まちのがっこうプラス」については実施形態を変えるなど工夫してみたが、事業として継続することに無理があるため、2023年度をもって一旦終了とする。

・「くりた子どもひみつきち」は、利用者数の低下と固定化が課題であるが、協働企業との連携を強めるべく動き出し、地域の資源の一つとして認めてもらえるよう周知を図っていく。

③人がつながる コミュニティ形成事業

・「仕事と暮らしの両立フェスタ」は規模を拡大し実施。会員さんの参画が大きな力となったが、収支としては厳しい結果となったため、他事業と絡めながらの実施を見込む。

・暮らしの中のもやもやを共有する「もやもやカフェ」は毎回好評で交流の場ともなっている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
目的を同じく する他の団体 との連携事業	まつやま人口減少対策推進会議 専門部会事業 (ライフデザイン プロジェクト)	4月～ 3月	松山市内	2名	一般市民、学生、 企業	1,700
目的を同じく する他の団体 との連携事業	松山市中小企業振興円卓会議専 門部会事業 (シン・まつやまワークワク部) 〈松山市の働き方改革推進〉	4月～ 3月	松山市内	2名	一般市民(県 民)、企業	1,344
目的を同じく する他の団体 との連携事業	松山市休日子どもカレッジ推進 事業 〈長期休暇中の小学生の居場所 づくりと地域で子育て支援〉	4月～ 3月	松山市内	7名	主として松山市内 の小学生のべ1500 名と保護者	7,146
目的を同じく する他の団体 との連携事業	愛媛県「三浦保」愛基金事業 〈学生サポート、子どもの居場 所づくり環境整備〉	7月～ 2月	松山市内	1名	松山市内団体、企 業、愛媛県民	300
ワークライフ バランスに関 する啓蒙活動 関連事業	自主事業 ・まちのがっこう事業 (まちのがっこうプラス、くりた子どもひみつきち等) ・ワーコラ交流会・カフェ ・キャリアコンサルティング ・企業支援、講演、相談等 ・男性家事育児支援事業 ・YUIみらいプロジェクト	4月～ 3月	愛媛県内	7名	愛媛県民	8,154

18,644

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	支出額 (千円)
	実施なし				